

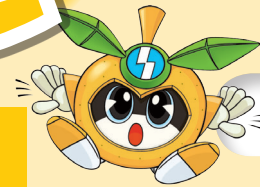
稲城市の教育

発行 稲城市教育委員会
編集 教育総務課教育総務係
住所 〒206-8601
東京都稲城市東長沼2111
電話 042-378-2111(内線616)

イメール

Inagi Education and Learning

2025
令和7年 3.15



第4号

©K.Okawara・Jet Inoue

大人同士の学びを深めました！「稲城市地域教育フォーラム」

令和7年1月25日(土)中央文化センターホールにて「稲城市地域教育フォーラム」を初開催いたしました。

市内外から多くの方が来場され、前身の「稲城市地域教育懇談会 全体会」開催時の人数を大きく上回る131人が参加くださいました。

第一部では稲城市の子ども達の成長を支える地域の団体による活動事例の発表を行いました。3つの中学校ブロックが各ブロックの特色を活かした活動内容を報告しました。

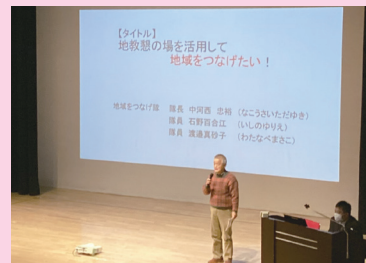
発表後の質疑応答では、「子ども達にさりげなく寄り添う工夫や、学習支援団体の活動に、保護者や地域の方を巻き込む方法」等発表内容に関する具体的な取り組み方についての質疑応答が展開されました。

第二部では文化庁次長 合田 哲雄 氏による講演会を開催、「子どもたちの学びと大人の意識」とのテーマで、現代の教育現場の実情を踏まえ、子ども達だけでなく、大人自身が学び続ける姿勢を子ども達に見せることの大切さをご講演いただきました。

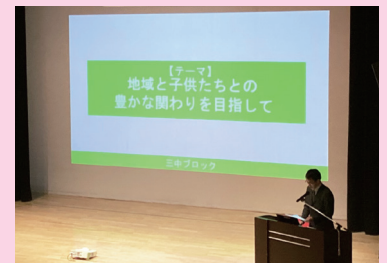
開催後のアンケートには、多くのご意見やご提案をいただきました。

令和7年度につきましても、教育委員会は、家庭・地域・学校の協働について皆様とともに学び合える場として、稲城市地域教育フォーラムの開催を予定しておりますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

▷問合せ 指導課



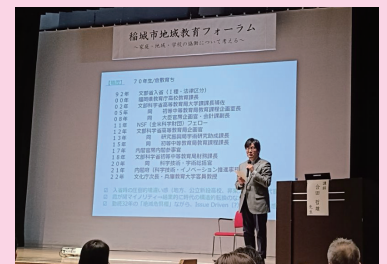
一中ブロック テーマ【地教懇の場を活用して地域をつなげたい！】
発表者 中河西 忠裕氏



三中ブロック テーマ【地域と子供たちの豊かな関わりを目指して】
発表者 栗木 勇氏



五中ブロック テーマ【地域を担う人材を育む幼保小中の連携と地域の役割】
発表者 川村 恵美氏



講演会
テーマ【子どもたちの学びと大人の意識】
合田 哲雄氏

南山小学校開校十周年記念式典を挙行了しました

令和7年2月15日(土)に、稲城市立南山小学校開校十周年記念式典を挙行し、多数のご来賓の方々にお越しいただき、盛大に開校十周年をお祝いいただきました。

「校歌斉唱」の場面では、校歌「学びの丘に」(作詞 渡瀬 昌治氏)作曲者 大田 桜子氏から、児童へのお話と指揮をいただき、出席者全員による校歌の大合唱となりました。

10年前、平成27年4月に市内で12番目の小学校として、全校児童18人でスタートした学校でしたが、今では大きな規模となり、教育活動の充実も図られてきました。

これからも、「君は希望の星、君は輝く太陽」と校歌で歌われるように、

▷問合せ 教育総務課

シビックプライドを醸成しながら未来に活躍する子ども達が育ち、次の10年、さらに次の時代へと新たな歴史を築いていくことを願います。



英語スピーチコンテストを開催しました

令和6年12月14日(土)中央文化センターホールにて「第11回小・中学生英語スピーチコンテスト」を開催いたしました。本コンテストは、東京稲城ロータリークラブと教育委員会が共催で行っている事業です。

今年度は、小学生4人、中学生38人が参加し、身近な出来事や日本の文化、将来の夢、社会についての考え等、主体的に考えたことや広く伝えたいことを英語で表現しました。

特に今回は、出場者のメッセージ性の高まりが見られました。

教育委員会では、今後も、児童・生徒のさらなる英語による発信力、パフォーマンス力の向上に取り組んでまいります。



▷問合せ 指導課

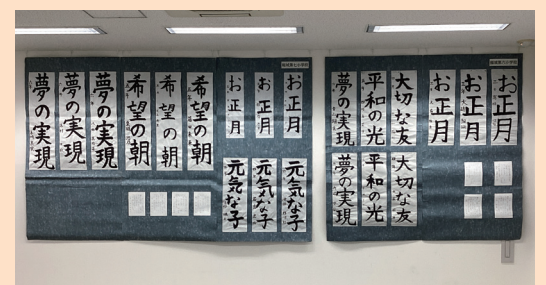
第17回稲城市立小・中学校合同展覧会を開催しました

令和7年1月18日(土)から2月12日(水)まで、「稲城市立小・中学校合同展覧会」を城山体験学習館で開催しました。

開催期間の前半は、「図画工作・美術の部」の作品を展示いたしました。

後半は、「書き初めの部」、小学校12校の代表児童による「小学生科学展の部」、各小中学校のESD(持続可能な社会づくりの担い手を育む教育)のポスターに加え、今年度は8月に開催した「国連を支える世界こども未来会議 in INAGI」の発表パネルを展示いたしました。

保護者や市民の皆様にも、児童・生徒の日頃の学習の成果を公開するとともに、児童・生徒が相互に鑑賞する機会となりました。



▷問合せ 指導課

教育長コラム

No.08



大人同士の力の結集

令和7年2月15日(土)、稲城市立南山小学校開校10周年記念式典が挙行されました。

10年前の開校前夜の頃を思い返しますと、当時既に少子化が加速される社会状況の中、新たな学校の誕生に、多くの人々が希望と期待を抱いていました。

市立小学校11校から先生方が協力し、新たな学校の運営が円滑に進むよう、教育課程や、生活指導、保健指導のプランを作成、このように、学校関係者も皆で、開校を心待ちにしておりました。そして、平成27年4月、南山小学校は、本市12番目の小学校として開校、在籍児童18人という小規模スタートでした。間もなく開催された「第1回運動会」では、児童一人ひとりの活躍場面が多様に設定され、また、運動会を賑やかにしようと、大勢の地域の方々が競技に参加し、パフォーマンスを披露、準備や片付け等の運営にも関わってくださり、まさに、地域と学校との協働による華やかなスポーツの祭典となりました。その後10年が経ち、本校は在籍児童630人を超えるまでの規模となり、教育活動も充実の一途を辿りました。令和3年度の、キャリア教育推進による文部科学大臣表彰受賞という快挙等、めざましい教育活動充実は、地域の

方々が子ども達や学校のためにエネルギーをかけてくださり、地域や社会についての学びを力強くサポートしてくださったからこそのものです。

この度の南山小学校開校10周年という機に、改めて本市全域を見渡し、一つ一つの学校が、各地域の皆様にお心を寄せていただき、熱いエネルギー結集のもと様々ご支援いただき、学校の歴史を積み重ねてきたということを、深く実感しております。

そして、令和6年度も、地域をはじめ多くの方々と学校・教育委員会が、子ども達の成長を図り一緒に取り組ませていただいた場がたくさんありました。そのうちの一端ですが、以下、最近の出来事を振り返ります。

1. 「稲城市地域教育フォーラム」の開催

令和7年1月25日(土)、稲城市中央文化センターホールにて開催。プログラムは、「第一部：子どもたちの成長を支える地域の団体による活動事例の発表及び質疑応答」、「第二部：講演会『子どもたちの学びと大人の意識』（講師：文化庁次長 合田哲雄先生）と設定しました。「初開催」とPRしてきましたが、実際には、これまで継続実施してまいりました「地域教育懇談会」の「全体会」をグレードアップさせた教育イベントです。本市では、昭和60年から、中学校ブロックごとに「地域教育懇談会」が組織され、地域や学校・園など子ども達に関わる諸団体が構成員となり、子ども達の健全育成を趣旨として情報共有・意見交換を行ってきました。各ブロックにおいては日常の活動に加え年間数回の懇談会を開催、さらに各ブロックの活動を全体で共有する場として、教育委員会は年1回、「全体会」を開

催してまいりました。本懇談会が、本市の子ども達の健やかな成長に果たしてきた役割は計りしれません。しかしながら、取組内容が市民の方々へ十分に知らされていなかったり、時代の変遷とともに平日昼間開催の「全体会」への参加者が減少傾向にあったりするなど、課題も見えてきていました。そこで、令和6年度「全体会」の名称を「地域教育フォーラム」とし、併せていくつかの改編を行いました。具体的には、各ブロックからの実践発表を全体で共有するという主たるプログラムは引き継ぎつつ、発表や質疑応答の時間にゆとりをもたせられるよう発表ブロック数をこれまでの6ブロックから3ブロックへと減らし、また、開催日を土曜に変え、さらに参加対象を「懇談会構成メンバーのみ」から「どなたでも参加可能」と広げました。加えて、参加者全員で学びを深め合えるよう、「第二部」として、教育に知見の深い専門家の先生から講演いただくという時間を設定することいたしました。当日、まず第一部では、一中ブロックから「地教懇の場を活用して地域をつなげたい」、三中ブロックから「地域と子供たちとの豊かな関わりを目指して」、五中ブロックから「地域を担う人材を育む幼保小中の連携と地域の役割」とのテーマによるご発表を各20分間いただきました。それぞれ、工夫された方策により、子ども達を「真ん中」に置き、地域や社会状況を踏まえながら、深く広く関わりを深める事例が発表され、また、今後に繋がる課題提起もいただきました。続く質疑応答においても、発表者と会場との、双方向のやりとりが展開されました。そして第二部。合田先生は、ご

自身の経験をユーモア交えてご紹介され会場を和ませながら、子ども達を巡る実態についてデータをご提示くださり、さらに「問い」を自ら立て、他者と協働しながら「納得解」を出す力」「自分の頭で考え、他者と対峙する」など、これから必要な力を明確にお示しくださいました。CBT（コンピュータを活用したテスト形式）化されている時代の授業や学習評価の在り方、社会変化を捉える視点のち方や私たち自身の意識改革の必要性についても、深いご教示をくださいました。

参加者は昨年度から倍増、市内の皆様に加え、文部科学省その他各自治体からもご参加いただき、終了後、多くの皆様から「好評の感想を賜りました。地域の皆様の子も達へのご支援の実践についてより広く共有したい、そして大人同士の深い学び合いも実現したい」そんな思いから企画した「地域教育フォーラム」の第1回でした。

地域教育懇談会関係者の皆様にご理解いただきましたこと、そして、当日に向け発表や運営のご準備をいただきましたこと、深くお礼を申し上げます。

2. 「不登校対応合同報告会」の開催

令和7年1月29日(水)、稲城第四中学校にて開催しました。稲城市立学校各校では、登校できなくなっていたり教室に入りにくくなっていたりする児童・生徒への適切な個別支援、また児童・生徒が登校したくなるような魅力ある学校づくりのため、様々工夫し取り組んでいます。そのような中、令和6年度、東京都教育委員会から、稲城第四中学校は「不登校対応加配教員配置校」の指定を、稲城第二中学校は「不登校対応巡回教員

配置校」の指定を受けました。両校は、この機会を最大限に生かし、また指定校としての責務を果たすべく、本市としての不登校対応の推進を図ってこられました。

今回の報告会では、まず、今年度の、稲城四中の取組と、稲城二中所属の巡回教員の各校巡回における実践が報告されました。ご臨席くださいました東京都教育庁指導部の担当指導主事からは、特に、「別室」において生徒の自己選択を尊重している点について、高い評価をいただきました。

その後、参加者間のグループ協議が行われ、「子ども達一人ひとりの活躍場面が保証された教育活動の工夫」や、「別室指導」を中心とした具体的方策、またそれぞれの立場や視点からの思いや考えについて、活発な協議が行われました。

当日は、本市立学校教員、さらに学校運営協議会メンバー等地域の方々が多数参加くださり、家庭からの視点、現実社会からの視点など、多方面からの意見交換ができました。また、教育委員会からは、学務課長、学校給食課長が、市からも子ども福祉部長、児童青少年課長、子ども家庭支援センター課長が参加し、児童・生徒の成長に関わる立場として、皆様と一緒に学ばせていただきました。

この2事業は、子ども達の育成や教育課題について、様々な立場の方々が一緒に、言わば「こちゃまぜ」になって共有する機会となりました。これらは、子ども達の学びと成長を実効性をもってサポートすることを目指した場でしたが、そのために集結した大人自身も考えを深め合い、アクションやムーブメント

令和6年度文部科学大臣優秀教職員表彰

令和6年度文部科学大臣優秀教職員表彰式が令和7年1月17日(金)に開催され、59団体829人が表彰されました。稲城市からの被表彰者は、稲城第六小学校主幹教諭・峯愛先生と若葉台小学校主幹教諭・青木一也先生です。峯愛先生はICT教育の推進に顕著な功績を持ち、生活指導や校務軽減にも貢献しました。青木一也先生はICTを活用した国語教育の推進、児童の意欲を高める授業づくり、市外での講師活動等で功績が認められました。



稲城第六小学校
峯愛主幹教諭



若葉台小学校
青木一也主幹教諭

令和6年度東京都教育委員会職員表彰

令和6年度東京都教育委員会職員表彰式が令和7年1月17日(金)に開催され、20団体109人が表彰されました。稲城市からの被表彰者は稲城第四中学校長・橋太造先生と稲城第三中学校主幹教諭・大橋淑恵先生です。橋太造先生は不登校対応の推進と支援の普及で功績を認められ、大橋淑恵先生は生徒にわかりやすい「生活指導だより」を作成・活用し、生活指導の充実に貢献しました。

の意義を実感いただけたのではないのでしょうか。そしてこのような姿は、長年にわたる本市の地域と学校との協働連携が培ってきた成果であり、本市ならではの強みと言えるのではないのでしょうか。

より多くの大人が関わり合うことは、何よりも、子ども達の将来の生きる力に繋がります。市内では、既に地域の各団体の方々等のご尽力のもと、子ども達のための様々な活動が展開されており、心から感謝を申し上げます。教育委員会も、今後さらに皆様の力強いパワーとのコラボレーションを進められるよう、教育施策に工夫を重ねてまいります。稲城市の子ども達が、安心して希望をもって歩んでいけるよう、引き続きよろしく、お願い申し上げます。

稲城市教育委員会教育長
杉本真紀子

野沢温泉村冬交流を行いました

稲城市立中学校では、インストラクターや民宿の方による支援のもと、スキー体験等を行っています。スノーシュー（雪の上を歩行するための道具）体験とスキーの講習が主な活動です。体験した生徒達は、スキー1年目にして、あっという間に上達し「最高！！」「こんな景色見たことない」と感動している様子でした。

また、歴史あるこの野沢温泉スキー場には、ブナの森の美しい景色、良質なパウダースノーを求めて、世界各地から観光客が訪れます。今回の活動中に生徒から、「外国から来られた方と会話をした」「学校で学んだ英語を生かせた」といった声も聞かれました。

スキーを終えると、村内に13か所ある外湯(共同浴場)を巡ったり、お土産の購入、夜は民宿の「お父さん・お母さん」との交流や、友達とのんびりした時間を過ごしました。

生徒の皆さんが、宿泊体験学習で学んだことや、お世話になった方々への感謝の気持ちを大切にし、これからの学びや活動に生かしていくことを願います。

【日程】	
第Ⅰ期	令和7年1月14日(火)～1月17日(金) [三中・四中]
第Ⅱ期	令和7年1月21日(火)～1月24日(金) [二中・五中]
第Ⅲ期	令和7年1月28日(火)～1月31日(金) [一中・六中]
第Ⅳ期	令和7年3月5日(水)～3月7日(金) [特別支援学級(一中・五中)]

▷問合せ 指導課

稲城市大空町教育交流を行いました

大空町と稲城市は、小学校5年生を対象に教育交流を行っています。夏の時期、稲城市から29人の児童が、2泊3日で大空町を訪問し、畜産や畑作等の体験活動と様々な交流体験をしました。

令和7年1月14日(火)、15日(水)には大空町立女満別小学校の児童19人が、稲城市を訪問くださり、初日は、昨夏に大空町を訪問した稲城市児童のご家庭に、ホームステイしました。次の日には、児童の皆さんと女満別小学校の校長先生をはじめとする訪問団の皆さんが、各小学校を訪問して様々な交流活動を行いました。

各小学校では、全校集会や学年集会等で、女満別小学校の児童を歓迎しました。女満別小学校の児童の皆さんは、事前に準備した大空町の紹介スライド等を使って、大空町の名産品や観光名所、学校生活等を紹介してくれました。学校の校庭でスケートをしている様子に、驚きの声が大きく上がっていました。

また稲城市の児童からは、学校の様子を伝え、さらに、レクリエーションや共同制作、学校周辺散策、交流給食等を通して、交流活動を楽しみました。

お互いの生活や文化に触れることで、それぞれのよさ等について発見でき、改めて自分達が生活する地域についての関心や理解が深まりました。



▷問合せ 指導課

令和6年度 中学校職場体験 受入先一覧

ご協力頂いた事業者の皆様に御礼申し上げます ※名称は実施当時・順不同

Ash 稲田堤店	スポーツクラブNAS若葉台
DCM稲城押上店	セブンイレブン 稲城平尾1丁目店
imacoco coffee	第五保育園
JR稲城長沼駅	高倉町珈琲 若葉台店
JSSスイミングスクール若葉台	タカハシ グリーんうぉーく多摩店
ORTOLANA	タカハシ クロスガーデン多摩店
SOCOLA若葉台郵便局	多摩カントリークラブ
青木屋 稲城長沼店	たましん 歴史・美術館
青葉幼稚園	多摩動物公園
アクアメイト稲城	中央公民館
アクラブ稲城	中央図書館
穴澤天神社	iプラザ図書館
アルソック	第一図書館
石井フローリスト	第二図書館
一般社団法人目のあるまちねっと	第三図書館
稲城第一小学校	第四図書館
稲城第二小学校	ツクイ稲城長沼
稲城第三小学校	天地の恵みおにぎり弥平四郎
稲城第四小学校	東京南農業協同組合 JA東京みなみ 稲城支店
稲城第六小学校	東横INN府中南武線南多摩駅前
稲城第七小学校	特定非営利活動法人わくわく
稲城第四中学校	トヨタモビリティ東京
いなぎのぞみ保育園	U-Car多摩ニュータウン店
いなぎ発信基地ペアテラス	中島ゆうし保育園
いなげや 稲城矢野口店	ニコン
いなだ助産院	にじいろ保育園矢野口
医療法人社団慶児会	パシオス 稲城ランド通り店
南山リハビリテーション病院	はなぶさ幼稚園
大丸ゆうし保育園	パルシステム生活協同組合連合会
小田急線新百合ヶ丘駅	稲城事務センター
ガスト 稲城駅前店	ピーコックストア 稲城長沼店
カフェドクリエ	びょうシーホース 若葉台店
株式会社岩木電子工業	平尾小学校
株式会社カンノコピー	ひらお保育園
株式会社丸山スポーツ	ヘアサロンB i g
株式会社リーフテック	ペットフォレスト 若葉台店
株式会社ワイ・デー・ケー	ホームセンターユニディ 若葉台店
川辺農研産業株式会社	ボニークリーニング フレスポ若葉台店
くまざわ書店 稲城店	本郷児童館・本郷学童クラブ
グラン・グルメ株式会社	本郷ゆうし保育園
多摩セントラルキッチン	マクドナルド グリナード永山店
京王キッズプラッツよみうりランド	マクドナルド 聖蹟桜ヶ丘店
京王ストア 稲城店	松葉保育園
ケーキファクトリー ホイップ	緑ヶ丘幼稚園
ケーズデンキ イオンタウン稲城長沼店	南山小学校
公益社団法人稲城市シルバー人材センター	メリーボピンス稲城ルーム
向陽台保育園	もみの木保育園長峰
コーチャンフォー 若葉台店	もみの木保育園若葉台
極楽湯 多摩センター店	ヤオコー 稲城南山店
コマクサ幼稚園	ヤオコー フレスポ若葉台店
こまざわ幼稚園	薬樹薬局 稲城
サウンドフラワー	矢の口幼稚園
三和 SOCOLA若葉台店	ヤマト運輸株式会社
三和 アメリア稲城三和ランド通り店	有限会社嘉山金型製作所
しおどめ保育園稲城	有限会社つるや
市民活動サポートセンターいなぎ	有限会社リパティ
社会福祉法人永明会 いなぎ苑	ユニクロ 稲城矢野口店
社会福祉法人正吉福祉会 いなぎ正吉苑	ユニクロ 京王聖蹟桜ヶ丘店
社会福祉法人正吉福祉会 やのくち正吉苑	ユニクロ ソコラ若葉台店
社会福祉法人博愛会 ハーモニー松葉	ユニクロ ミッテン府中店
城南信用金庫 稲城支店	吉野家 川崎街道矢野口店
城山保育園	よみうりランド
城山保育園南山	梨花幼稚園
スーパーレジン工業株式会社	レッツ！インドアテニススクール若葉台
スターバックスコーヒー 稲城東長沼店	わ！ホグレルジム
ステーションホテル ちゃぼ	若葉台接骨院
スポーツオーソリティ 新百合ヶ丘店	若葉台バオバブ保育園

▷問合せ 指導課

東京都市町村教育委員会連合会 第2ブロック研修会を開催しました

東京都市町村の教育委員、学校職員や事務局職員を対象とした研修会である「東京都市町村教育委員会連合会第2ブロック研修会」を令和6年度は稲城市が担当市として、令和7年2月7日(金)中央文化センターホールにて実施いたしました。研修会では、NPO法人体験型安全教育支援機構理事長・株式会社ステップ総合研究所長・日本女子大学学術研究員の清永奈穂氏を講師にお迎えし、「自助共助力を育む体験型防災・防犯教育」と題して講演会を開催いたしました。

前半では、自分で考えて動く力をつけることの大切さ、地震が起こってから「8秒の行動」が大切であることをご講演いただきました。後半は、防犯教育について危険性のある場所や人の特徴等についてご講演いただきました。講演中は、受講者が席から立ち上がり、子どもの視界の狭さを体験したり、助けを大声で求める練習をしたり、体験をしながら防災・防犯教育について考える良い機会となりました。



▷問合せ 教育総務課

フィリピン共和国セブ州コルドバ町と教育交流協定を締結しました

令和7年1月10日(金)、教育委員会はフィリピン共和国セブ州コルドバ町と教育交流協定を結び、オンラインにて締結式を行いました。

コルドバ町のスアン町長は教育への熱意が高く、締結式当日にはスアン町長だけでなくコルドバ町の校長先生方もお集りいただきました。日本との時差は1時間と少なく、教育熱心な町であるコルドバ町と今後オンライン等を介した教育交流を行うことにより、子ども達の英語力向上や、稲城市が推進するESDのさらなる充実を目指していきます。

「稲城から世界へ」をモットーに、子ども達がグローバルの時代に生かすことができる力を育ててまいります。

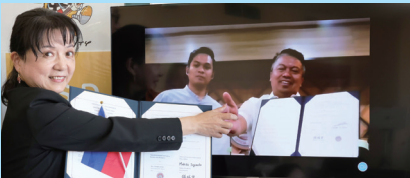
○コルドバ町とは

セブ・マクタン国際空港のあるマクタン島に位置し、人口約7万人で、自然環境や豊かな文化遺産を大切に守りながら急速に発展・成長中です。

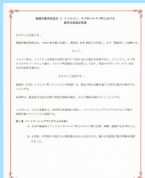
フィリピン共和国は、英語を公用語とし、小学校1年生から英語の授業を行っていることから、高い英語力を有する人が多く、また時差が少ないため、オンライン交流に適しています。



杉本教育長が協定書に署名



協定書を持ちスアン町長と画面越しに握手



協定書



▷問合せ 指導課

教育委員会の動き

第11回定例会 11月25日

- 1. 教育行政報告
- 2. 議案(可決)
稲城市立小中学校教室等防犯カメラの設置及び管理に関する要綱
- 3. 報告事項

第12回定例会 12月17日

- 1. 教育行政報告
- 2. 議案(可決)
令和6年度稲城市教育委員会施策の点検・評価(令和5年度事務事業)について、稲城市指定文化財の指定について
- 3. 報告事項

令和7年第1回定例会 1月21日

- 1. 教育行政報告
- 2. 議案(可決)
令和7年度稲城市公立学校管理職(校長・副校長)の人事について、稲城市立稲城第二小学校用地に係る教育財産の取得の申出について
- 3. 報告事項

令和7年第2回定例会 2月10日

- 1. 教育行政報告
- 2. 議案(可決)
稲城市学校給食費に関する規則の一部を改正する規則、稲城市公立学校学区に関する規則の一部を改正する規則、稲城市立稲城第二小学校校舎増築工事請負契約
- 3. 報告事項

【問合せ】教育総務課

第四次稲城市教育振興基本計画策定委員会の動き

第5回策定委員会 12月13日

- 1. 報告事項

パリ2024パラリンピック競技大会
卓球日本代表
七野一輝選手の講演会を開催しました

パリ2024パラリンピック競技大会の卓球、日本代表の七野一輝選手の講演会が令和6年12月9日(月)、母校の若葉台小学校で行われました。

当日は、パラ卓球という競技についての説明、パラリンピック出場までの努力、試合当日の様子等について講演いただきました。応援してくれる方からの「車椅子に乗りながら卓球できることがすごい!」という、相手をリスペクトする言葉に励まされたエピソードや、「誰かの新しい一歩を踏み出すきっかけとなれる存在でありたい」というお話があり、子ども達が相手を尊重することの大切さを実感し、何かに挑戦したいと勇気づけられる講演会でした。

講演会の後は、子ども達との卓球体験や東京ヴェルディのパスポート体験(ポッチャ)にも参加され、多くの子ども達が七野選手と交流を深めることができました。



▷問合せ 指導課

【参加者募集】
INAGI科学実験教室の開催

第1回：令和7年3月22日(土)
時間：午前10時から午前11時30分
場所：城山体験学習館
内容：自転車ジャイロ実験
講師：井垣 誠吾氏

第2回：令和7年3月29日(土)
時間：午前10時から午前11時30分
場所：城山体験学習館
内容：フィルムロケット実験
講師：網倉 優子氏

- ・参加費：無料
 - ・対象：年長～小学生
 - ・申し込み：2次元コードから
 - ・定員：各回抽選25人
 - ・申込期限：令和7年3月17日(月)まで
- 当選者には3月19日(水)までにメールにてお知らせいたします。



申込フォーム

▷問合せ 指導課

- (1)意見公募報告
 - (2)「第四次稲城市教育振興基本計画」各論案の構成
 - 2. 協議事項
 - (1)「第四次稲城市教育振興基本計画」総論案及び各論案の検討
- 第6回策定委員会 3月7日
- 1. 報告事項
 - (1)前回策定委員会からの経過
 - (2)関係機関意見公募実施状況
- 【問合せ】教育総務課
- 及び意見に対する考え方
 - (3)子どもからの意見公募内容及び結果
 - 2. 協議事項
 - (1)「第四次稲城市教育振興基本計画」(概要版)について
 - (2)「第四次稲城市教育振興基本計画」総論案及び各論案の確認

令和5・6年度 稲城市教育委員会教育研究奨励校研究発表会を開催しました

稲城第六小学校 令和6年11月8日(金)実施

稲城第六小学校では、研究主題を「誰もが夢中になれる体育学習～運動の面白さを実感できる授業を目指して～」と設定し2年間の研究を進めてきました。

本校では、小学校期の体育学習を、「生涯スポーツ」に向けて、今も将来もスポーツを自ら楽しむことができるよう、児童が自らスポーツへの肯定的な関わりを創ることができるようになる学びが重要であるとして、授業改善を図ってきました。

当日は、2時間目から5時間目にわたり、1年生から6年生まで12学級が授業を公開しました。器械運動の領域、陸上運動の領域、表現運動の領域、体づくり運動の領域等、様々な運動に親しむたくさんの児童の様子が見られました。稲城市内の小中学校の先生のみならず、市外の先生方や保護者の皆様も参観されました。

公開授業の後は、教職員を対象に、日本体育大学児童スポーツ教育学部教授・スポーツ健康科学博士である白旗和也先生にご登壇いただき、演題「児童が夢中になる体育学習づくりのために」をご講演いただきました。達成経験、有用感、運動への意欲、課題の発見、課題への探求、そして再び達成経験といったように、「豊かなスポーツライフ」の実現のためのサイクルについて、学ぶことができました。

稲城第二中学校 令和6年12月20日(金)実施

稲城第二中学校では、研究主題を「授業改善を通して 生徒の自ら学ぶ力を育む～考える・伝える・認め合う～」と設定し、生徒の「主体的に学び続ける力」の育成や、自己肯定感を高めることによる学習意欲の向上を目指し、自ら学ぶ力を育むための手立てとして、「考える」「伝える」「認め合う」をキーワードとした学習サイクルを設定し、授業改善に取り組みました。

中学生という発達段階や、各教科の特質を踏まえながら、全学年・全教科で意図的・計画的に取り組むことにより、学校総体として、生徒の「自ら学ぶ力」を育む学習スタイルを構築しました。

生徒が、自ら学び方を考え、学習の見通しを立て、他者と協働しながら調べたり、考えを深めたりして課題解決を図るとともに、自らの学び方を振り返り、学習を自己調整する等、自立した学習者として主体的に学び続ける、そのような生徒の育成を図りました。

公開授業の後は、教職員を対象に、国士舘大学体育学部こどもスポーツ教育学部教授である後藤正彦先生にご登壇いただき、演題「子供を主体とした授業づくりを考えるということ」をご講演いただきました。「予測困難な未来」が訪れる中、生徒達が主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度を身に付けることの必要性について、学ぶことができました。

▷問合せ 指導課

調理場で活躍する機器 自動フライヤー

市内に2か所ある共同調理場では、1日に約8,500食の給食を提供するため、様々な調理機器を使って給食を作っています。

今回は揚げ物を作る時に使用する自動フライヤーを紹介します。

令和7年1月27日(月)、全国学校給食週間にちなんで、東京が発祥の給食メニューである揚げパンを提供しました。熱々の油に入れたパンはコンベアで送られていきます。こんがりと揚げた後、最後にグラニュー糖をまぶして完成です。



▷問合せ 学校給食課